

平成 31 年 2 月 22 日(金)

1 学年 総合的な学習の時間 学年発表会

平成 31 年 2 月 22 日(金)伊那公民館において、2 月 5 日(火)の分野別発表会で選ばれたグループが学年全体の前で発表を行いました。また、フィールドワークでお世話になりました KOA 株式会社向山会長より、ふるさとについて「ふるさとという捉え方は、最初は母親の胎内、次に小中高の学びの場、大学生・社会人となり出身地というように変わっていく。様々なふるさとの集合体が日本という国であり、大きく見ると地球もふるさとと言える。そんなふるさとで何が起きているかを考えなければいけない」、「ふるさとを大切に思い、限りある資源をいかに循環させ、豊かになるかを考える必要がある」など、今年 1 年間学習してきたことをさらに深められるような講演をしていただきました。各グループの発表後にサン工業株式会社の川上社長から「将来や進学のことでは頭がいっぱいだと思うが、自分の原点は何なのか考えてみると進むべき道が見えてくるので、意識してほしい」と講評をいただき、ナパック株式会社の鈴木社長からは、新たな視点で物事を考えられるようなヒントを各グループにいただきました。

上伊那広域連合の皆様、各企業の皆様、地域の皆様には、本校の学習に 1 年間ご協力いただきありがとうございました。生徒にとって、大変貴重で有意義な 1 年間になったと思います。



